

福音の働き人の権利

ホープ・チャペル所沢
第一コリント人への手紙 9:1-14

「あなたがたは、宮に奉仕している者が宮の物を食べ、祭壇に仕える者が祭壇の物にあずかることを知らないのですか。同じように、主も、福音を宣べ伝える者が、福音の働きから生活のささえを得るように定めておられます。」（第一コリント9:13-14、新改訳）

序文

マタイ 10:8-10 で、イエス様は弟子達にこう言われたとあります。「病人を直し、死人を生き返らせ、らい病人をきよめ、悪霊を追い出さない。あなたがたは、ただで受けたのだから、ただで与えなさい。胴巻きに金貨や銀貨や銅貨を入れてはいけません。旅行用の袋も、二枚目の下着も、くつも、杖も持たずに行きなさい。働く者が食べ物を与えられるのは当然だからです。（新改訳）」興味深いのは、神様が彼らを通しておこなわれた奇跡と癒しに対する報酬は受けてはいけないと教えながら、一方でキリストは弟子達に和解の働きに対しては、寝る所と食べ物は当然の報いとして受けるべきだと教えていることです。

1. クリスチャンの働き人の権利と義務について。 (1-6節)

- ア) 初代教会における、使徒や福音の働き人の権利は何でしたか。
- イ)パウロの伝道のやり方を見て、彼の使徒としての権威に疑問を唱える人たちがいました。

2. 霊的なものを蒔き、物質的なものを刈り取るとは？ (7-12節)

- ア) モーセの律法は労働者や動物に、十分な備えを約束していました。
- イ) けれどもパウロはコリントの人々の信頼を得るために、自分の権利を用いませんでした。

3. 旧約時代と新約時代での、神の働き人を養う神様の方法について。 (13-14節)

- ア) 旧約時代の祭司やレビ人たちは、宮と祭壇での奉仕によって生活の糧を得ました。
- イ) 新約の時代では、福音の働き人は福音の働きによって生活のささえを得よう、命じられています。

私たちの祈りと学び、話し合いと応用のために

- 1) 第一コリント 9:1-6 によると、使徒たちと福音の働き人の権利は何でしょう。
- 2) なぜパウロは使徒としての権利を用いなかったのでしょうか。これは正しいことでしたか。
- 3) この問題に関しての主の考えを、第一コリント 9:14 はどのように述べていますか。

結論

主は、福音を宣べ伝える者たちが、それぞれの奉仕とイエス・キリストの福音を宣べ伝える働きから生活のささえを得るようにと、定められました。